
六本木アートナイト 2023
外国語対応企画 外国語ガイドツアー
[Introduction to Roppongi / Art / Night 2023]

報告書



六本木アートナイト実行委員会



六本木アートナイト 2023 外国語対応企画 外国語ガイドツアー
[Introduction to Roppongi / Art / Night 2023]
実施報告書

1. 報告概要

〈企画タイトル〉 外国語ガイドツアー Introduction to Roppongi / Art / Night 2023

〈開催概要〉

六本木アートナイト 2023の展示作品を英語でめぐる街歩きツアーを実施した。ツアーでは、展示作品の紹介のみならず、六本木の街の歴史や文化、社会的背景を紹介する機会を設けた。六本木やアートに対して知識がなくても参加ができるような内容とし、街にもアートにも親しみをもてるように務めた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症により生じた諸制限が緩和され、海外からはじめて日本を訪れる来場者を想定しツアーを制作した。イベント終了後もこのツアーの経験を通じ、六本木の街、東京そして日本に対する新たな視点を獲得できるような場を目指した。

〈会場〉 六本木アートナイト 2023 各所

〈開催期間および参加人数〉	予約人数	当日参加人数
ツアー①：2023年5月27日(土) 17:00～18:30	16名	11名
ツアー②：2023年5月27日(土) 20:00～21:30	17名	15名
ツアー③：2023年5月28日(日) 15:00～16:30	17名	19名
	合計:50名	45名

〈事業の背景と目的〉

●背景

今年度の外国語対応企画では、新型コロナウイルス感染症の影響による入国措置が撤廃されたことを受け、日本での観光がはじめてという訪日観光客でも気軽に参加ができる「イントロダクション」としてプログラムを組み立てた。

国際性の豊かな六本木の歴史や文化的背景をツアーに織り交ぜていくことで、地域に対する新たな視点を獲得することを目指した。

●目的

- ・海外からの観光客が日本の歴史や文化に触れ、理解を深める機会を提供する。
- ・街の中にある文化や歴史を発見することで、地域への関心を喚起する。
- ・海外からの来場者に必要な翻訳などのアクセシビリティについて検討する。
- ・アートを通じて街への新しい視点をもつことを促し、街の魅力を伝える機会を創出する。
- ・芸術文化を活用し、多文化共生社会の実現に向けた在留外国人の地域参画を促す。

2. プログラム内容詳細

地点	参加者への共有内容の概要
六本木ヒルズ《ママン》にて集合	
六本木ヒルズ ウェストウォーク	エマニュエル・ムホー 《100 colors no.43 「100 色の記憶」》 アートの街としての六本木、六本木の現在像
大屋根プラザ	「ニッカ池」六本木のウイスキー生産の歴史
六本木ヒルズアリーナ	栗林隆+Cinema Caravan 《Tanker Project》
けやき坂	地形的特徴と変遷
矢口ビル 1F	西尾美也+東京藝術大学学生 《もうひとつの 3 拠点：西尾研究室／DATSUEBA 六本木》
六本木イグノポール	林千歩「平行世界」《もうないかもしれないよ》 《踊るブッダの誕生日》
朝日神社	神社とは何か、港区にある神社の系譜
芋洗坂	外国大使館が集まる港区の歴史
第 1 レーヌビル	岩崎貴宏《雨の鏡》戦後の街の発展の歴史
※休憩	
ロアビル仮囲い	Keeenu 《SEEK and FIND》
六本木交差点	六本木の 70 年代以降の歓楽地としての歴史 長谷川仁《六本木のカタガタ》 パブリックアート《奏でる乙女像》、戦後の土地整理の例 テレビ局開局と合わせクリエイターの町になった背景
三河台公園	西尾美也+東京藝術大学学生 《もうひとつの 3 拠点：三河台公園／カーテンをゆく》 六本木の街の地形的特徴
檜町公園	地域の歴史と発掘された遺跡

→東京ミッドタウン屋外にて参加者と作品や内容を振り返り、アンケート回収、解散。

●六本木の街の事前リサーチ

- ・今回のツアーでは、前年度までに実施された六本木アートナイトの外国語対応企画の報告書や、そこで取り上げられた地域の情報を参考にツアーを制作した。
- ・街の歴史という観点では、先史時代までリサーチの範囲を広げ、参加者のルーツや文化的背景に関わらず共通の話題にすることが可能になるようなトピックとした。
- ・『港区史』『新港区史』等の書籍、港区立郷土歴史館の展示内容を参考にした。
- ・先史時代といった歴史的なトピックから現在の街、そして作品解説につなげることができるポイントを重点に文献を調査した。
- ・フィールドワークを行い、実際に作品が設置される場所が見える景色から事前に調べた歴史にどのようなつながられるかを試行した。
- ・実地に加え、国会図書館オンラインといったウェブサイトでも、かつての六本木の街を知ることのできる一次・二次資料を調査した。また、一部を印刷し、ツアーの街歩き中に解説する際に使用した。

●記録写真





〈運営メンバーからの所感〉

○良かった点

- ・ファシリテーターの他、スタッフがツアーの集合時間時には受付の整理、ツアー実施中は中間・後方で旗振りやグループの整理、ツアー終了後はアンケートの配布や回収を行った。終始参加者とのコミュニケーションにつとめ、ツアー内容の理解を促すよう工夫した。
- ・想定していた「日本にはじめて来た外国人観光客」のような方が実際に多く参加した。初めて来日した参加者にとって、六本木の街を多角的な観点で知る最初の機会となった。
- ・長らく六本木や周辺地域に住んでいたという方にも新たな発見があったことを、いずれも好感触で受け止めていただけた。
- ・文献と実地でのリサーチを現場でのガイドと組み合わせることで、ツアーならではの「インターネットでは体感できない情報」を多く提供することができた。
- ・ツアーごとに時間配分などの改善を行い、最後の第3回目のツアーでは参加者同士の交流の時間をより長く設けることができた。
- ・3度のツアーはいずれも天気にも恵まれた。昼のツアーは高温のため熱中症の危険性があったが、第1レーヌビルの岩崎氏の作品を実際に体験することで、待ち時間を利用し参加者が休憩時間を兼ねることができた。一方、夜のツアーは快適な外気温で実施できた。

○改善すべき点

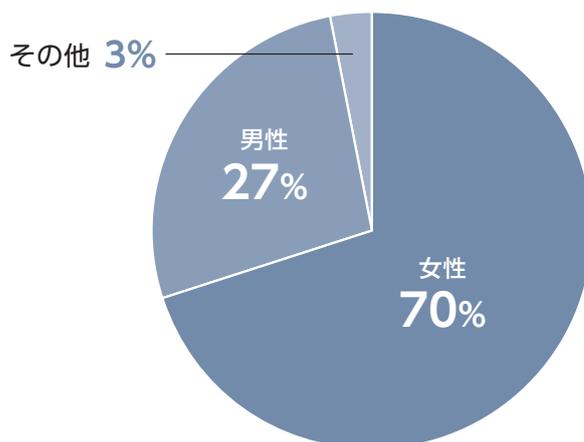
- ・ 作品鑑賞を目的とする参加者が多いことを想定し、作品解説や紹介を多く織り込むようにしたが、それでもアート面について語る時間がやや少なくなってしまった。
- ・ 前年度効果的とされていた、受付の時間を利用したファシリテーター・スタッフと参加者との会話の機会は、マイクのテストや予約者の到着時間の影響で、実施することがほとんどできなかった。結果として相互の会話よりも一方的にガイドが話す「観光ツアー」として受け止められてしまった。事前の申し込みで参加者の背景を記入するようにしていたがその情報が当日のツアーで生かされなかった。
- ・ マイクの使用(声の大きさ、声の届く範囲)は、事前にテストし実感として慣れる必要性を痛感した。
- ・ 時間配分の面でも伝えようとする情報が膨大で、内容としても多岐にわたるため、話している内容がすぐに切り替わり、参加者にとっては忙しいものとなった。
- ・ 参加者の負担や内容の充実さを鑑み、90分という時間設定したが、結果的に情報が膨大になってしまい、より情報を取捨選択し、経路を短くする必要があった。
- ・ 地点ごとのテーマではなくツアー全体で共通の大きなテーマを設け、最初にはっきりと伝えること、色々な時代の話をつなげることを事前に予告するとより効果的だった。

3. アンケート集計結果

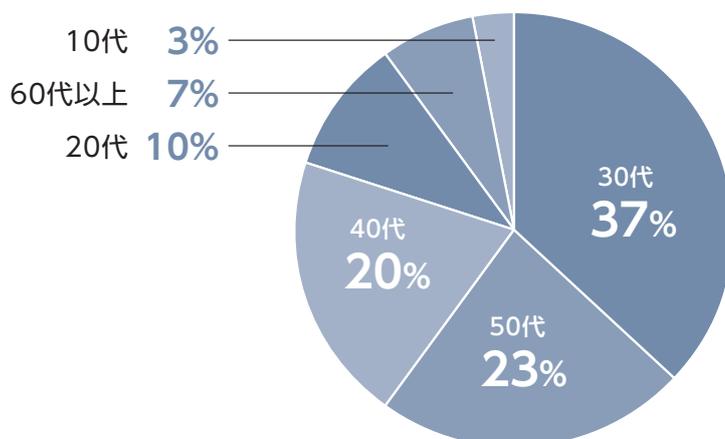
回答数 n=30 (参加者合計45名…回収率:67%)

※前回実施時の結果と大きく異なる点は、2022年参考値を表記

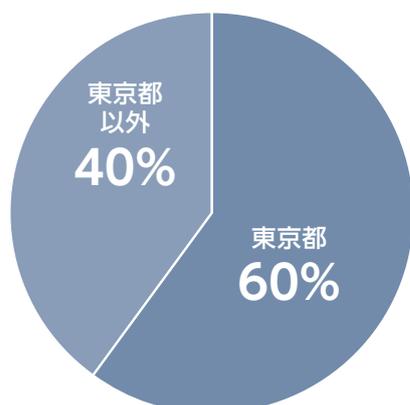
① 性別



② 年齢



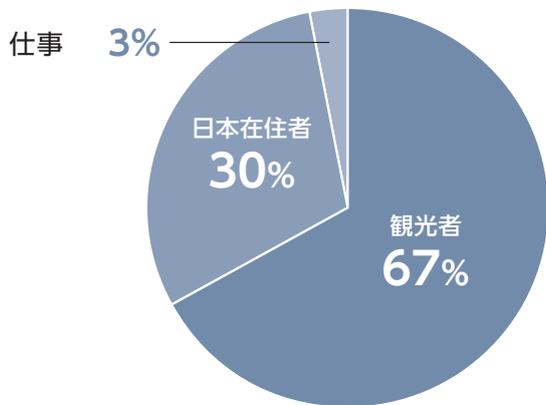
③ 居住地



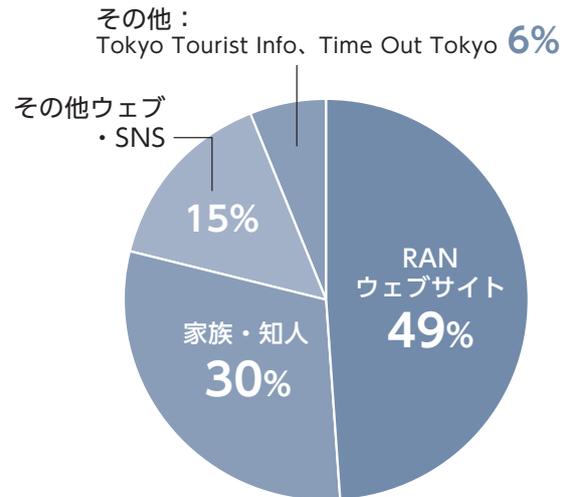
④ 出身国・地域

オーストラリア、スイス、中国、パキスタン、カナダ、
米国、ドイツ、フランス、ガーナ、南アフリカ、
スウェーデン
岡山県、大阪府、千葉県、山梨県

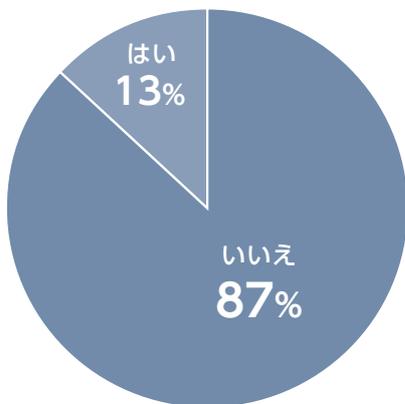
⑤ あなたは、
日本在住者ですか、観光客ですか。



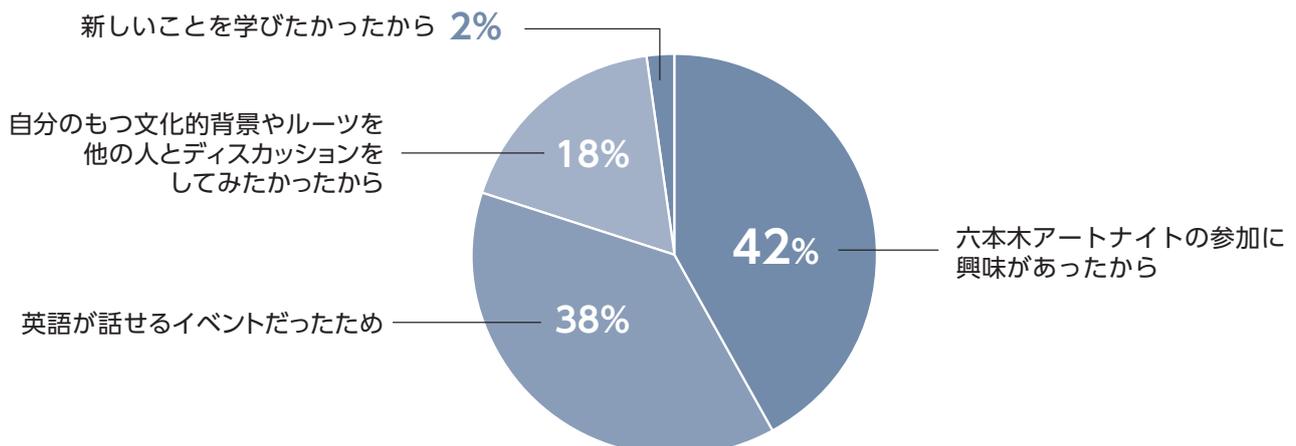
⑥ 本企画をどこでお知りになりましたか。



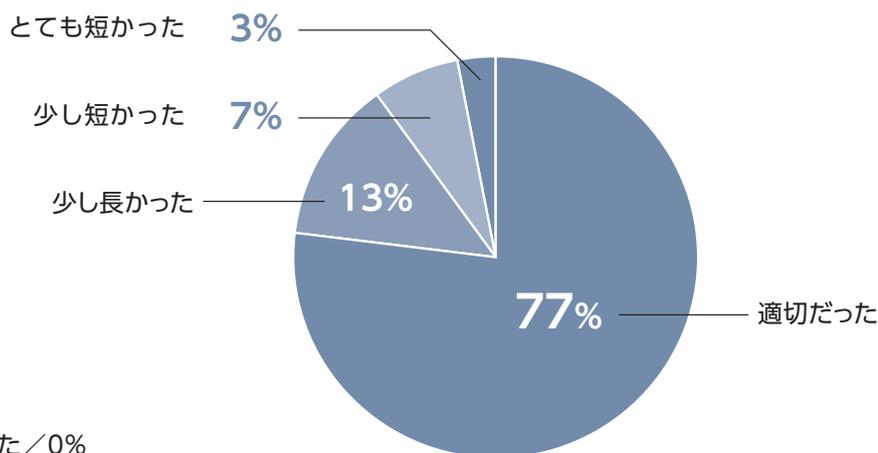
⑦ 六本木アートナイトに参加したことはありますか。



(a) 本企画に参加しようと思った動機は何ですか。(複数回答可)



(b) ツアーの長さはいかがでしたか。



とても長かった／0%

※昨年度に引き続き、実際に街中を散策するツアーの時間は約1.5時間(90分)とした。

気に入った点

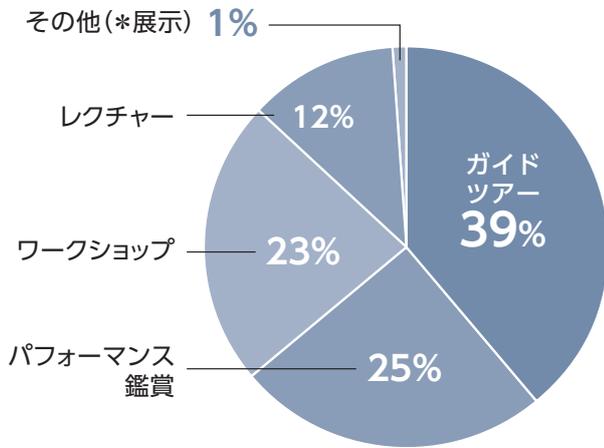
- あらゆる分野からの視点
- 六本木を見る目が変わった
- 見識、歴史
- 六本木の歴史を知ることができた
- ガイドとツアールート
- 六本木の歴史
- アート地点の紹介、六本木ヒルズの外
- 外国人との交流
- 雰囲気、オーディオガイド、歴史
- たくさんの内容、歴史
- 歴史の学び、ツアー自体
- 文化的背景
- 歴史に関する議論
- 過去、現在、未来に色々なことを知ることができた
- 色々な場所でその場特有の歴史について話した
- 六本木の歴史、山の手、芋洗坂
- 六本木や東京の歴史へのよいイントロダクションとなった
- 地域の歴史的背景

改善点について

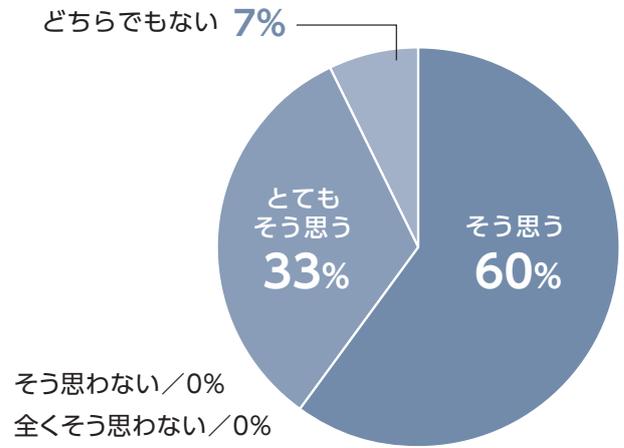
ご意見・ご感想をお聞かせください。

- マイクの使い方
- 時間が足りなかった、場所当たりの時間を増やしてほしい、2時間が理想
- もっと彫刻が見たかった
- アート作品への訪問
- 聞きづらい時があった、参加者との会話が難しかった
- 作品についてももう少し知りたかった。
- 全体概要。どこにいくつ展示があるかなどの説明
- 作品を楽しむ時間、聞きとりにくい時があった
- 歴史より作品の紹介を増やす
- 一度に情報が多い(感謝を込めて、自分の英語能力かもしれない)
- 場所をめぐる時間と回数
- 音量を大きく、特に移動時
- ツアー中に質問してほしい
- 話す量が多い、短い文章だと辿りやすい。マイクが範囲外になることがあった
- 話す内容が多くじっくり見る機会が少なかった
- 1時間がよい
- 個別作品についての情報

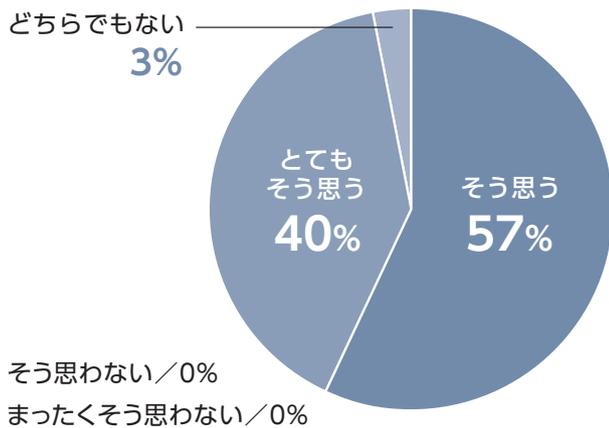
⑧ 英語の企画でどのようなプログラムに参加してみたいですか。(複数回答可)



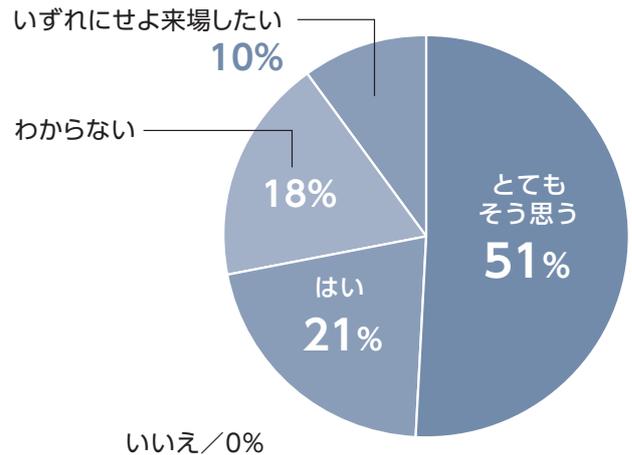
⑨ このプログラムに参加したことで、六本木への興味は深まりましたか。



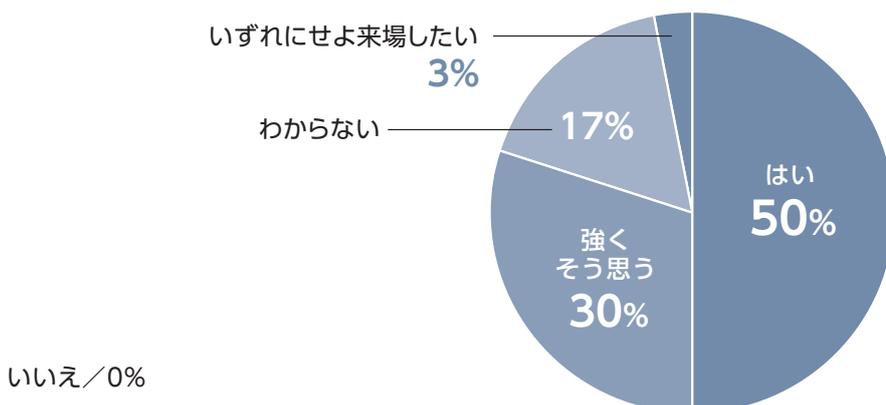
⑩ ツアーに参加して、六本木に対する理解が深まったと感じますか。



⑪ 多言語の企画があれば、六本木アートナイトに再度来場しようと思いませんか。



⑫ ツアーがあれば、アート作品の鑑賞を助け、六本木アートナイトに再度来場しようと思いませんか。



その他、お気づきの点やご意見があればご記入ください。(自由筆記)

- 歴史とは知識が共有されていることにも、隠されていることにも存在するのが面白かった。それがとてもよく伝わった。
- ガイドがみな優しかった。
- ありがとう、ツアーを楽しんだ。ほかの観光客ともっと話してみたかった。
- 皆さん、色々なサービスをありがとう。ツアーを大変楽しみ、自分では知れない。ことを知ることができた。ネットではわからない情報がたくさんあった。次回も参加したい。
- 英語が素晴らしかった。
- 英語でイベントが実施されたこと、またそういった英語プログラムの必要性を認識していることをうれしく思う。
- ポジティブなツアーに感謝している。
- 六本木をアートの視点から再発見できたのは興味深かった。
- 英語だったので参加しやすく良かった。
- ツアーはよかった。六本木地区の背景についてたくさん知ることができた。
- 英語でツアーがあるだけで十分。
- 外国人で日本語を学んでいるので、バイリンガルのプログラムがあると嬉しい。
- 英語のアートマップがあったらよかった。
- もっといろいろな時間やオプションから選べたらよかった。
- アートインスタレーションの説明がもう少しある方がよかった。
- 個人的にはオーディオ機材が使いづらかった。
- オンラインでビデオ通話の形をとった方が参加しやすいかもしれない。
- 次回はアーティストのコレクションも取り込んでほしい。
- 多言語へ翻訳できるラジオがあったらいい。
- 街歩き自体は楽しんだ。一つのトピックに絞って深掘りするのが良い。
- アート作品をもっと訪れたい。
- 作品の解説がもっとあるとよい。

〈企画協力〉

企画協力：田中ジョン直人

東京出身、米国カリフォルニア大学デービス校で国際農業開発学と美術史を学んだ後、都内で大手メーカー勤務を経て、東京藝術大学大学院GAP専攻修了。現在は同大の取手キャンパスを筆頭に、個人史・地域史とマクロな社会史・人類史の接続点へ、リサーチ、発表や展示、アーカイブで迫ってきた。

六本木アートナイト 2023

■開催日時：〈メインイベント〉令和5年5月27日(土)10:00～5月28日(日)18:00

※コアタイム：27日(土)18:00～28日(日)6:00

■開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

公式YouTubeチャンネル【RAN TV】：https://www.youtube.com/c/rantv_roppongiartnight

■主催： 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】

■助成： 令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

六本木アートナイト 2023

外国語ガイドツアー「Introduction to Roppongi / Art / Night 2023」報告書

発行：六本木アートナイト実行委員会

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

森ビル株式会社 森美術館内

URL：<http://www.roppongiartnight.com/2023/>